

住民への広報啓発の事例

- (1)安全な雪下ろしガイド（山形県）
- (2)雪下ろし・落雪事故注意喚起情報（新潟県魚沼市）
- (3)安全な雪下ろし作業するために（秋田県大館市）
- (4)町内地区回覧および駐在所での回覧文書（山形県真室川市）
- (5)ホームページでの注意喚起情報の発信（北海道北見市／青森県青森市）
- (6)広報誌による注意喚起情報の発信（山形県大蔵町／山形県戸沢村／新潟県湯沢町）
- (7)よくある除雪作業中の事故とその対策（内閣府及び国土交通省）

住民への広報啓発の事例 (1)安全な雪下ろしガイド

山形県 安全な雪下ろしガイド

屋根の雪下ろしは危険がいっぱい!

安全な雪下ろしガイド

屋根の雪下ろしは、一人での作業や安全対策を怠ると、大きな事故につながります。

雪下ろし中の事故を防ぐポイントをお教えます!!

山形県

安全・安心な冬の暮らしのため の雪下ろし作業8つのポイント!

ポイント1 屋根の雪のゆるみに注意!

- 暖かい日の午後は特に注意しましょう。
- 雪解けや氷や雪がこごくりに注意しましょう。

ポイント2 安全な服装で!

- ヘルメットを正しく着用しましょう。
- 動きやすい服装にしましょう。
- 厚底の長靴は避けましょう。
- 足裏の感触が重要です。
- すべりにくい防寒性のゴム手袋がおすすめです。

ポイント3 命綱を使いましょう!

- 転落防止のために命綱を使いましょう。
- 命綱にはザイルやロープなどを使いましょう。トラロープはすべりやすいので、使わないようにしましょう。
- 命綱を固定するには、専用のアンカーを使う。反対側の家の柱に結ぶなど、状況に応じて工夫しましょう。
- 命綱を体に固定するには、安全帯など幅広いものを使いましょう。
- 命綱は正しく結びましょう。
- 命綱は屋根の上で止まる長さに調整しましょう。
- 命綱は正しく使用しないと、逆に危険です。

●もやい結び(命綱)の方法

安全・安心な冬の暮らしのため

ポイント4 はしごはしっかり固定!

- 転落防止のため、はしごの足元もしっかり固め、上部をロープで固定しましょう。
- 長さは軒先より60cm以上高くしましょう。
- 屋根に対して真つ直ぐに、決められた角度でかけましょう。
- はしごの昇り降りには特に注意が必要です。

1 上から下へおろしましょう
2 ロープで固定
3 足元を固める
4 なるめ足元への立てかけははしごがずり落ち危険!

ポイント5 使いやすい除雪道具を!

- 軽くて雪が付きにくいアルミ製スコップやスノードンプを使いましょう。
- 雪がつかにくくなるスプレーもおすすめです。

の雪下ろし作業8つのポイント!

ポイント6 2人以上で作業!

- 雪下ろしは、事故に備えて2人以上で作業しましょう。
- 互いに声をかけながら、家族と隣近所に声をかけましょう。
- 携帯電話も持ちましょう。

無理な作業はやめましょう!

ポイント7

- 雪下ろしは重労働です。体調が悪いときは無理は止めましょう。
- 上る前に準備運動を忘れずに行いましょう。
- 十分に休憩をとりながら、列回がけておろしましょう。
- 息ないときはスコップ、スノードンプを着て身を守りましょう。

ポイント8 足場はいつも注意!

- 踏雪に巻き込まれないように、上から雪下ろしをしましょう。
- 足場は慎重に作りましょう。
- 軒先は危険です。雪止めより下には足場を作らないようにしましょう。
- 厚さ20cm程度の雪を残した方がすべりにくい。
- 軒先の雪は屋根に落ちないようにしましょう。
- 軒下の人や電線にも注意しましょう。
- 家からのつらら落としは十分高い棒で小さめにやります。

Case 1 恐ろしい屋根雪

《屋根雪の衝撃力》

屋根から降りた雪が落ちると大きな衝撃力(0.3~5トン/㎡)が生じ、人に当たれば大けがをします。

衝撃力(トン/㎡)	被害の目安
0.1	窓を破壊
0.5	ドアを吹き飛ばす
3	車の本脚を破壊

《もし雪に埋もれてしまったらこんなことに》

大人でも、わずか30cmの雪に全身が埋まってしまつと体を持ち上げられなくなります。口が完全にふさがれた場合、15分を過ぎると生存率は急速に低下します。

《屋根から落ちたら大変》

高さ10mの屋根から落ちた場合の衝撃速度は時速35kmに達し、地面がもき出た舗装面であれば自動車正面衝突と同程度の大きけがを負います。

Case 2 こんな事故がおきています

《雪下ろし中にはしごから転落》

屋根に立てかけたはしごに登る際に、はしごがずり落ちて転落し身損、入で屋根の雪下ろしをしていた所、雪と一緒に落下し大量の雪に埋もれ窒息。

《屋根から雪と一緒に転落》

暖房機の屋外排気口の雪を取り除いている最中に、屋根から雪が落ちてきて打撲。

《水路に転落》

屋根から下ろした雪を水路に排雪していたが、あやまって水路に転落。

私たちの生活を脅かす豪雪

2005年12月から2006年3月までの冬期は、過去に例のない豪雪被害が発生し、気象庁は「平成18年豪雪」と命名し、山形県でも多くの被害が発生しました。

- 死者は283名、うち重傷者(160名)は、全国ワースト1位
- 60歳以上の高齢者が5割以上、屋根からの転落事故が6割以上
- 亡くなった方の5割以上が屋根からの落雪が原因

雪下ろし・落雪事故防止 注意喚起情報を発信します!

山形県では、屋根からの落雪や雪下ろし中の転落事故が発生しやすい状態になったこととお知らせする「雪下ろし・落雪事故防止注意喚起情報」を発信します。

《注意喚起情報を発信する条件》

12月から3月までの降雪期間、最高気温や積雪などの気象データをもとに状況を判断し、発信します。

《情報の入手先》

ホームページをはじめ、県内報道機関の協力を得ながら広く発信していきます。

「こちら防災やまがた!」
<http://www.pref.yamagata.jp/hosai/index.html>

「山形県雪情報システム」 ※降雪量予報情報を提供しています。
<http://www.pref.yamagata.jp/snow/>

万が一事故が発生したら 119番通報してください!

山形県建設部危機管理室総合防災課 TEL023-630-2231

住民への広報啓発の事例 (2)雪下ろし・落雪事故 注意喚起情報

新潟県魚沼市 市報別冊 「雪下ろし・落雪事故 注意喚起情報」

雪下ろしや除排雪作業をするときは

除排雪作業を開始する前に、準備ができているか、雪下ろしができる状態かどうかを確認しましょう。「これくらい大丈夫。」と油断すると、重大事故につながる可能性があります。準備は万全に整えましょう。

天候に注意

- 強風や大雪などの悪天候時は、作業を控える。
- 曇りや雨の日、屋根が濡りやすく危険です。曇りや雨で、できれば雪が降らない午前中に行う。

作業は体調を整えてから

- 作業中・作業後の体調を管理する。
- お酒を飲んだ後の作業は絶対しない。
- 暖かい服装で、休憩をとりながら行う。
- 疲労時や寝不足時には無理な作業は控え、心臓等への負担を避ける。

安全な服装・使いやすい道具

- 命綱を使用する。
- ヘルメットなど保護帽を着用する。
- 長靴の滑り止め（荒縄の着用）やかんじきを装着。
- 軽くて使いやすい除雪道具を使用する。

1人で作業しない

- 作業は明るい時間帯に2人以上で行い、作業中は声を掛け合う。
- やむを得ず1人で作業をする場合は、家族や近所に声を掛け、時々様子を見てもらう。

無理をしない

- 雪止めのない屋根や自然落下式（落雪式）などの屋根には上がらない。
- 無理な姿勢での作業はとても危険です。雪止めより先では作業をしないなど、軒先には近づかないようにし、屋根の先端に近い部分の作業は特に注意しましょう。



安全な服装の例

雪下ろし・落雪事故 注意喚起情報

はしごの固定・足場の確保

- はしごの転倒を防ぐため、はしごの足元はしっかりと固定し、頭部も安定させる。
- 自分の足場をしっかりと確保し、雪は20cmほど残して下ろす。（下ろしすぎると、滑りやすくなってしまいます）

落雪にも注意

- 雪下ろしをするときには、屋根の下の通行人（特にご年配の方や子ども）に十分注意しながら行う。
- 地上での作業は屋根からの落雪に十分注意する。

経験と体力を過信しない

特に、作業をする人がご年配の方の場合、これまでの経験や若いときの体力を過信し、油断してしまうことから事故につながる人が多いようです。

【重大事故が起こる場合】

- スノーダンプに載せた雪の重みに体をとられた
- スノーダンプやスコップの雪を振ったときにバランスを崩した など

雪国に住む私たちは、経験に自信を持ってしまい、1人で屋根に上がることが多くあります。事故は、予期しないところで発生しますので油断は禁物です。無理のない安全な作業計画を進めましょう。




魚沼市

※北陸地方豪雪検討会「屋根の雪下ろし3つの用心」より引用

雪下ろし・落雪事故 注意喚起情報

「あちこたねえ」が、一番「あちここと」!!



魚沼市

住民への広報啓発の事例 (3)安全な雪下ろし作業をするために

秋田県大館市 雪下ろし講習会資料 「～安全な雪下ろし作業をするために～」

※雪下ろし講習会は町内会等からの要望を受けて開催

大館市消防本部

～安全な雪下ろし作業をするために～

毎年、冬になると雪下ろし作業に伴う転落事故等が多数発生しています。最悪の場合、脊髄損傷や死亡するなどの重大な事故となりますので次の点に注意して安全な作業を心がけましょう。



★ 安全な服装で

- ➦ ヘルメットは必ず着用しましょう。(頭部の保護)
- ➦ 動きやすく転倒した場合でも滑りにくい服装にしましょう。

★ 命綱を必ずつける

- ➦ 命綱を体に固定するには安全帯など幅広のものを使いましょう
- ➦ 万一、転落しても屋根の上で止まる長さに調整しましょう。
- ➦ ロープ固定用のアンカーや専用の器具がある場合は正しく使用しましょう。
- ➦ 屋根の上に命綱を固定する場所が無い場合は、反対側の家の柱や大きな木に固定するなど状況に応じた工夫をしましょう。

★ はしごの固定

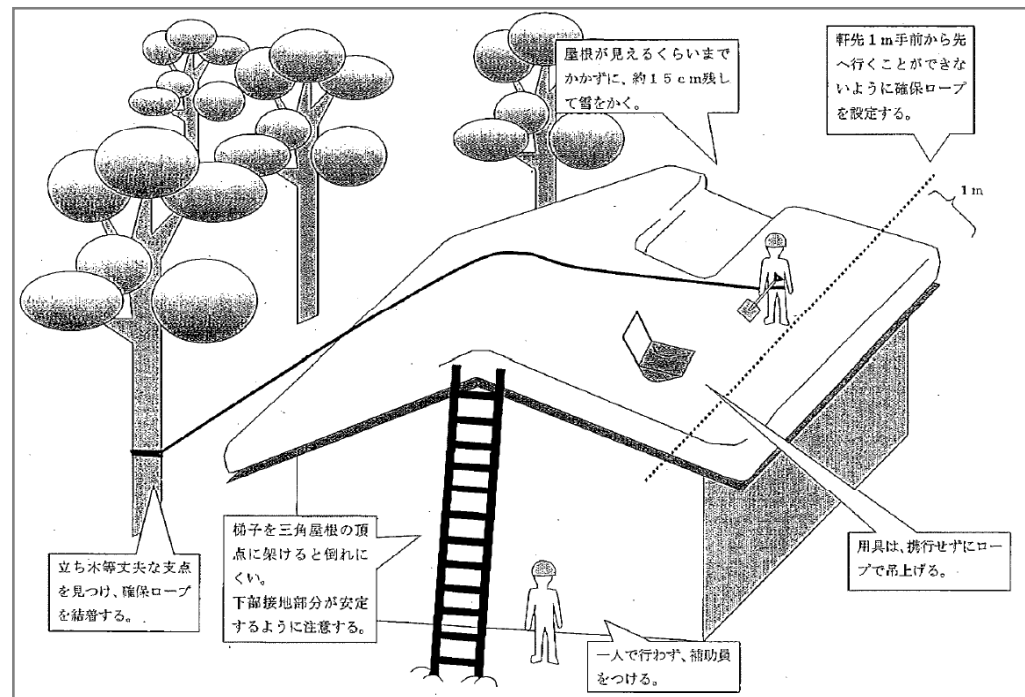
- ➦ 転倒防止のため、はしごの足場はしっかりと固め、はしご上部をロープ等で固定するようにしましょう。
- ➦ 屋根に対してまっすぐに決められた角度で架けましょう。
- ➦ 昇り降りには滑りやすいので注意しましょう。
- ➦ 除雪道具は持って昇り降りしないで、ロープで上げ下げするようにしましょう。

★ 複数で作業

- ➦ 万一に備えて2人以上で作業しましょう。
- ➦ やむを得ず1人で作業する場合は、家族や隣近所に声を掛け時々様子を見てもらうようにしましょう。

★ 無理な作業はしない

- ➦ 雪下ろしは真労働です。作業する前には準備運動、作業中には十分な休憩をとり水分を補給しながら作業しましょう。
- ➦ 体調が悪いときは無理をせず止めましょう。



山形県真室川町 町内地区回覧および駐在所での回覧文書

回覧

除雪作業中の事故にご注意ください！！

最上管内で雪下ろし作業中の事故が発生しています。
町でも1月19日に「真室川町豪雪対策本部」を設置しました。町民の皆様も、住宅等での除雪作業や農作物の被害等に十分注意されますようお願いいたします。

●作業をする際は

- ①屋根の雪下ろしは、はしごを固定し、命綱をつけ転落を防止するとともに、2人以上で作業を行う。(電線や電話線を切断しないよう注意する)
- ②雪の重みで、LPガスのボンベやホースが壊れ、ガス漏れが起こる危険性があるので、十分注意する。
- ③除雪機の回転部分には近寄らない。雪が詰まったときはエンジンを確実に切り、ローターの停止を確認してから雪を取り除く。
- ④ローターは除雪後に惰性で回転するので、詰まった雪を手や足で取り除くことは絶対にしない。

安全な雪下ろしのポイント

○屋根の雪のゆるみに注意	○安全な服装での作業
○命綱の使用	○はしごはしっかり固定
○使いやすい除雪道具の使用	○2人以上で作業
○無理な作業はしない	○足場にはいつも注意

雪害事故が発生したら役場にお知らせ願います。
連絡先 真室川町役場 総務課
総務・危機管理担当 62-2111 (内線211)

町内回覧

回覧

平成23年1月号

広報 真室川駐在所

新庄警察署
真室川駐在所
渡部俊次
電話62-2155

大雪による事故の防止を

除雪機による死亡事故発生

県内で、屋根の雪下ろし中に転落し死亡する事故が3件発生しています。
(1/13朝日町 1/10小国町 12/29南陽市)
また、真室川町内では除雪機による死亡事故、最上町内では除雪機による重傷事故が発生しました。
屋根の雪下ろしや除雪機の事故をなくすため

決して油断せず


次のことに注意して行ってください。

雪下ろし時

- ◎ 命綱、ヘルメット等の着用を
- ◎ はしごはしっかり固定して
- ◎ 天気の悪い日は滑りやすい

除雪時

- ◎ 除雪機の点検は、必ずエンジンを停止して
- ◎ 衣服等の巻き込みに注意



警察官を名乗る不審電話が

警察官を名乗る男から
「キャッシュカードの暗証番号を教えてください」
等の不審な電話が
1月13日 山形市内で20件
1月15日 鶴岡市内で21件
発生しています。
警察官が、キャッシュカードの暗証番号を電話で聞くようなことは絶対にありません。
そのような電話がかかってきたら、すぐに警察に110番通報してください。

雪道は、速度を抑えて安全に

駐在所回覧

住民への広報啓発の事例 (5)ホームページでの注意喚起情報の発信

北海道北見市／青森県青森市 HPでの注意喚起情報の発信


トップ くらし 健康・福祉 教育・文化 観光・魅力 産業・しごと 行政・まちづくり 防災

TOP > 経路 > 防災対策-危機管理課
TOP > 分野 > 防災-安全 防災情報
TOP > 属性 > 災害-防災

除雪中の事故を防ぎましょう!!

2011年12月8日

今年も雪のシーズンがやってきました。
例年、自宅などの除雪作業のときに屋根からの落下や、落雪により雪の下敷きになるなど
残念な事故が発生しています。
これからの季節、除雪中は十分に注意をして事故の無いようにしましょう！



<除雪中の事故防止10カ条>

- 作業は家族、となり近所にも声を掛けて2人以上で！
- 低い屋根でも油断は禁物！
- 建物のまわりに雪を残して雪下ろし！
- 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に！
- 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんで！
- 忘れずに！命綱とヘルメット
- はしごの固定を忘れずに！
- 除雪道具はこまめに手入れ、点検を！
- エンジン切ってから！除雪機の雪詰まりの取り除き
- 携帯電話の携行を忘れずに！

除雪中の事故防止対策のパンフレット 是非ご覧ください。

[内閣府 除雪中の事故防止パンフレット.pdf\(4.78MB/tes\)](#)

詳しくはこちらを→[内閣府 雪に対する「減災」の知恵・お役立ち情報](#)

お問い合わせ
防災対策・危機管理課
電話：0157-25-1171 ファクシミリ：0157-25-6932 E-Mail hosai@city.kitami.lg.jp

<http://www.city.kitami.lg.jp/docs/2011120500040/>

北見市

携帯サイトはこちら サイトマップ

水と緑と人が共生し、地域の絆で築く
市民主体の元気都市・あもり

青森市 Aomori City

青森市は
こんなまちです

青森市の
まちづくり

暮らしのガイド

福祉・健康

観光情報

環境への取組

産業・雇用

教育・生涯学習
文化・芸術・スポーツ

安全・防災・緊急

行政情報

TOPページ > 青森市のまちづくり > 北国のまち・雪の情報 > 青森市の除排雪情報

文字の大きさ 小 **中** 大

更新日 2012年01月18日

安全な除雪や雪下ろし作業を心がけましょう

- ★一人での作業は危険です！雪下ろしなど除雪は必ず2人以上で！
- ★雪下ろしの際は安全帯・命綱とヘルメット、すべりにくい靴(厚底は避ける)を着用しましょう！
 - ・雪下ろし用のはしごの長さは軒先より60cm以上高くしましょう！
 - ・はしごは屋根に対して斜めに立てかけず、まっすぐしっかりと固定しましょう！
 - ・滑りこくするため、厚さ20cm程度の雪を残して作業しましょう！
- ★河川・水路への投雪は洪水・冠水の危険性がありますので、流水に支障を与えないようにしましょう！
- ★融・流雪溜に投雪する際は詰めすぎ等に気をつけ、気温が著しく低い(-5度以下)時は利用を控えましょう！
- ★作業中の除排雪車両に近づくのは危険ですので、絶対に近寄らないようにしましょう！

※詳しくは、ページ下の添付ファイルから内閣府作成のチラシをご覧ください。

PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。

添付ファイル
[よくある除雪中の事故とその対策\(PDF\)](#)

連絡先
都市整備部 雪総合対策課

<http://www.city.aomori.aomori.jp/view.rbz?cd=11483>

青森市

住民への広報啓発の事例 (6) 広報誌による注意喚起情報の発信

山形県大蔵町/山形県戸沢村/新潟県湯沢町 広報誌による注意喚起情報の発信

広報 おおくら 平成23年2月 No.618

一月は雪の事故に注意!!
一月十七日豪雪対策本部を設置

水抜き

65見しく・い・い・い・い・キリおおくら 2

山形県大蔵町

豪雪による排せつ場所の確保と集落内堆雪の排雪作業について

村内における積雪量が、260cm（1月26日現在）となり、この時期としては近年にない大雪となっています。村では、雪下ろしなどによる被害の未然防止を呼び掛けています。また、住居周辺の雪を捨てる『排雪場所』を先日回覧しておりますので、皆さまのご協力をお願いいたします。

一方、連日の生活道路（村道）の除雪により、堆雪場所がなくなりつつありますので、集落内を重点に順次排雪することとしておりますので、各地域住民のご理解とご協力をお願いいたします。

排雪する日時が決定した都度、地区会長に連絡しますとともに防災行政無線で周知いたしますので、更なるご協力をお願いします。

屋根の雪下ろしや除雪には十分注意ください!!

県内でも雪下ろし作業等の原因による多くの死傷者が出ています。除雪作業には多くの危険がはらんでいます。作業には十分な注意が必要です。多くの事故が起きている『雪下ろし』は、以下のポイントに注意し、安全に作業を行いましょう。

<事故の例>

- 雪下ろし中にははしこから転落し骨折。
- 屋根の雪下ろし作業中、雪と一緒に落下し雪に埋もれ窒息。
- 除雪作業中、屋根から雪が落ちてきて打撲。
- 水路に排せつ作業中、あやまって水路に転落。

安全な雪下ろしのポイント

- 屋根の雪のゆるみに注意
- 安全な服装で
- 命綱を使いましょう
- はしこはしっかり固定
- 使いやすい除雪道具を
- 作業は2人以上で
- 無理な作業はやめましょう
- 足場はいつも注意

山形県戸沢村

雪による事故にご用心!

雪崩に気をつけましょう～これからが要注意です～

雪崩の災害は1月と2月に集中して発生しています。雪崩はスピードが速く、起きてから逃げることはできません。雪の少ない時期から、雪崩の発生しやすい場所や、どのようなときに発生するのか知っておくことが大切です。

全層雪崩

降雪や降雨の後、
天気が良い
気温が上がったとき

すべり面

表層雪崩

気温が低く
古い雪の上に
多量の新鮮な雪が積もったとき

すべり面

- ▶全層雪崩は、雪崩のすべり面が地表面にあり、春先の融雪期に多く発生します。
- ▶雪崩の速さは、時速40～80kmと自動車並みのスピードです。
- ▶表層雪崩は、雪崩のすべり面が積雪内部にあり、気温が低く降雪が続く時期に多く発生します。
- ▶雪崩の速さは、時速100～200kmと新幹線並みのスピードです。

雪崩の発生しやすい場所は?

一般的に角度が30度以上で高低差10m以上ある斜面が、雪崩の危険があるといわれています。特に35～45度の斜面が一番危険です。また低い木や草しか生えていない斜面は注意が必要です。雪山の登山やスキー場では、このような危険な場所は近づかないことが大切です。

危険な兆候を発見したら…

山の尾根から雪がはり出した雪庇（せび）や斜面の亀裂など、雪崩の兆候を発見したときは速やかにご連絡ください。

【連絡先】 ●湯沢町役場 総務課 TEL 784 - 3451 ●南魚沼地域振興局 地域整備部 TEL 772 - 2249

心がけましょう! 除雪中の事故防止のための10か条

本格的な雪のシーズンの事故で、特にご注意いただきたいのが、屋根の雪おろし等の除雪中の事故です。雪に慣れているはずの新潟県内でも毎年けが人が発生しています。除雪中の事故防止のための10か条を心がけ、無理のない安全な計画で除雪作業を進めましょう。

- ①作業は家族、となり近所にも声掛けて2人以上で!
- ②低い屋根でも油断は禁物!
- ③建物のまわりに雪を残して雪おろし!
- ④作業開始直後と疲れたころは特に慎重に!
- ⑤晴れの日はど要注意! 屋根の雪がゆるんで!
- ⑥忘れずに! 命綱とヘルメット
- ⑦はしこの固定を忘れずに!
- ⑧除雪道具はこまめに手入れ、点検を!
- ⑨エンジンを切ってから!
- ⑩除雪機の雪詰まりの取り除き
- ◎携帯電話の携行を忘れずに!

県がまとめた「除雪中の事故防止に向けた対策」パンフレットは、下記ホームページからダウンロードできます。

～雪処理事故防止のための注意点～
<http://www.pref.niigata.lg.jp/chiikiseisaku/1196784963949.html>

新潟県湯沢町

住民への広報啓発の事例 (7)よくある除雪作業中の事故とその対策

内閣府及び国土交通省

よくある除雪作業中の事故とその対策

昨冬の豪雪による死者の66%は高齢者 82%は除雪作業中でした

(年齢65歳以上)

一人での除雪作業は危険です！ 地域一斉の雪下ろしなど 除雪は必ず2人以上で！

- 屋根からの転落による死者41%
→安全帯・命綱とヘルメット、すべりにくい靴(厚底は避ける)を着用しよう！
→命綱は使用前によく点検！
→スノーダンプは小回りのきくものを使おう！

- 屋根からの落雪による死者17%
→新雪や晴れの日雪のゆるみに注意！
→携帯電話を持って！
→家族・隣近所に声をかけてから！

- 除雪機に巻き込まれた死者5%
→雪詰まりの処理はエンジンを切ってから！

- 水路への転落による死者10%
→水路への雪捨ての最中滑らないよう注意！

- 屋根からの転落事故の32%は、はしごから
→はしごは必ず固定！
→はしごから屋根への移動時は特に注意！

- 転落死者のうち1%が地面に強打
→建物の周りに雪を残して雪降ろし！

- 転落死者のうち6%が1階の屋根から
→低い屋根でも油断しない！

- 除雪作業中の発作による死者8%
→疲労時は作業しない！

命を守る除雪中の事故防止10箇条

- ✓ 作業は家族、となり近所にも声をかけて2人以上で！
- ✓ 建物のまわりに雪を残して雪下ろし！
- ✓ 晴れの日ほど要注意、屋根の雪がゆるんで！
- ✓ はしごの固定を忘れずに！
- ✓ エンジンを切ってから！除雪機の雪詰まりの取り除き

- ✓ 低い屋根でも油断は禁物！
- ✓ 作業開始直後と疲れたころは特に慎重に！
- ✓ 面倒でも命綱とヘルメットを！
- ✓ 命綱、除雪機など用具はこまめに手入れ・点検を！
- ✓ 作業のときには携帯電話を持っていく！

空き家の除雪が行われず、危険な状態になっている場合には、法律*の定めに基づき市町村長の判断で雪下ろしを行うことが可能です。お困りの際は市町村に問い合わせ下さい。

*災害対策基本法第64条第1項

作成：内閣府災害予防担当 03-3501-6996 / 国土交通省国土政策局地方整備課 03-5253-8404
 「雪害対策のページ」 <http://www.bousai.go.jp/setsugai/index.html>
 「豪雪地帯対策のページ」 <http://www.mit.go.jp/kokudoseisaku/chisei/crd chisei tk 000010.html>

安全な除雪作業をするためのチェックリスト ～あなたは除雪のときにどんな備えをしていますか？～

それぞれの項目にチェックしてください

【安全な服装を！】

- ヘルメットを正しく着用していますか？
- 着ぶくれしないで動きやすい服装で作業していますか？
- 長靴は厚底ではなく、足裏の感覚がわかるものですか？
- すべりにくい防寒性のゴム手袋(突起付き)を使用していますか？
- 作業時に携帯電話を持参していますか？

- 【ヘルメット】あごひもを締めよう
- 【安全帯】幅広で締めやすいもの
- 【命綱】すべりにくくゆるみにくい
- 【防寒性ゴム手袋】動きやすい服装、厚着はダメ！
- 【ゴム長靴】すべりにくい

【命綱・安全帯を使いましょう！】

- 命綱にはザイルや麻ロープを使っていますか？トラロープ(標識ロープ)はすべりやすいので使わないようにしましょう。
- 命綱を固定するには、専用のアンカーを使う、反対側の柱に結ぶなど、状況に応じて工夫していますか？
- 命綱を体に固定するため、安全帯など幅広のものを使っていますか？
- 命綱は正しく結んでいますか？
- 命綱は屋根の上で止まる長さに調整していますか？
- ※命綱は正しく使用しないと逆に危険です。

【はしごはしっかり固定しましょう！】

- 転倒防止のため、はしごの足元をしっかりと固め、上部をロープ等で固定していますか？
- 長さは軒先より60cm以上高くしていますか？
- 屋根に対してまっすぐに、決められた角度で立てかけていますか？(斜めに立てかけない)
- はしごの昇り降りには特に注意していますか？

【使いやすい除雪道具を！】

- 軽くて雪がつきにくいアルミ製スコップやスノーダンプを使っていますか？
- スノーダンプは小回りのきくものを使っていますか？
- 雪がつきにくくなるスプレー・ワックスを利用していますか？

【足場には特に注意！】

- 落雪に巻き込まれないように、上から雪下ろしをしていますか？
- 足場を注意深く作っていますか？
- 軒先の作業は危険です。雪止めより下には足場を作らないようにしていますか？
- 滑りにくくするため厚さ20cm程度の雪を残して作業していますか？
- 軒先の雪は作業の最後に落とすようにしていますか？
- 軒下の人や電線にも注意して作業していますか？
- 窓からのつらら落としは十分長い棒でこまめにしていますか？

【屋根の雪のゆるみに注意！】

- 暖かい日の午後は特に注意して作業を行っていますか？
- 雪解け水の様子に注意して作業を行っていますか？

【無理な作業はやめましょう！】

- 雪下ろしは重労働です。体調は万全ですか？
- 作業前に周辺を確認しましたか？
- 屋根に上る前に準備運動をしていますか？
- 十分に休憩を取りながら何回かに分けて雪下ろしを行っていますか？
- ※危険なときはスコップ・スノーダンプを手から離して身を守りましょう。

あなたの除雪作業安全度(チェックの数をご記入ください) / 30

【除雪のいらない克雪住宅を検討しよう！】

住宅の克雪化への補助等を行っている市町村もありますので、支援内容については各市町村の住宅担当へお問い合わせ下さい。

融雪式住宅

屋根融雪装置付住宅

フラッシュ加工の屋根にあわせて高床化した自然落雪構造住宅